

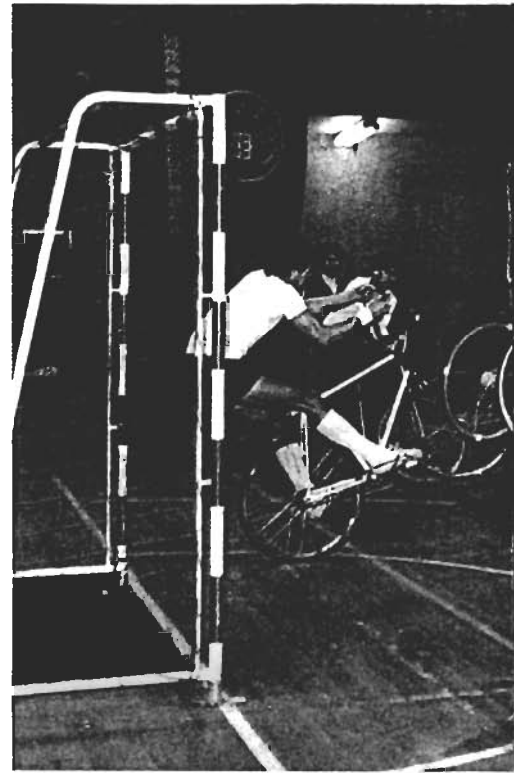
京都産業大A、木俣・石橋組に 全国から20校精鋭36チームが

第9回全日本学生サイクルサッカー選手権大会は11月27・28日の2日間、京都立命館大学体育館において開催された。参加校は全国から20校、36チームが参加して行われた。第1日目は午前9時から開会式、明治大学高橋錦司選手の宣誓によって試合開始。9時半からAコート、Bコートにわかれてトーナメント方式で、それぞれ14試合を行ないベスト8が決定。この中には関東ではただ一チーム明星大Aが勝ち上がり、残りベスト7は予想どおり京産大Aと大阪大Aをはじめ立命館大が入った。

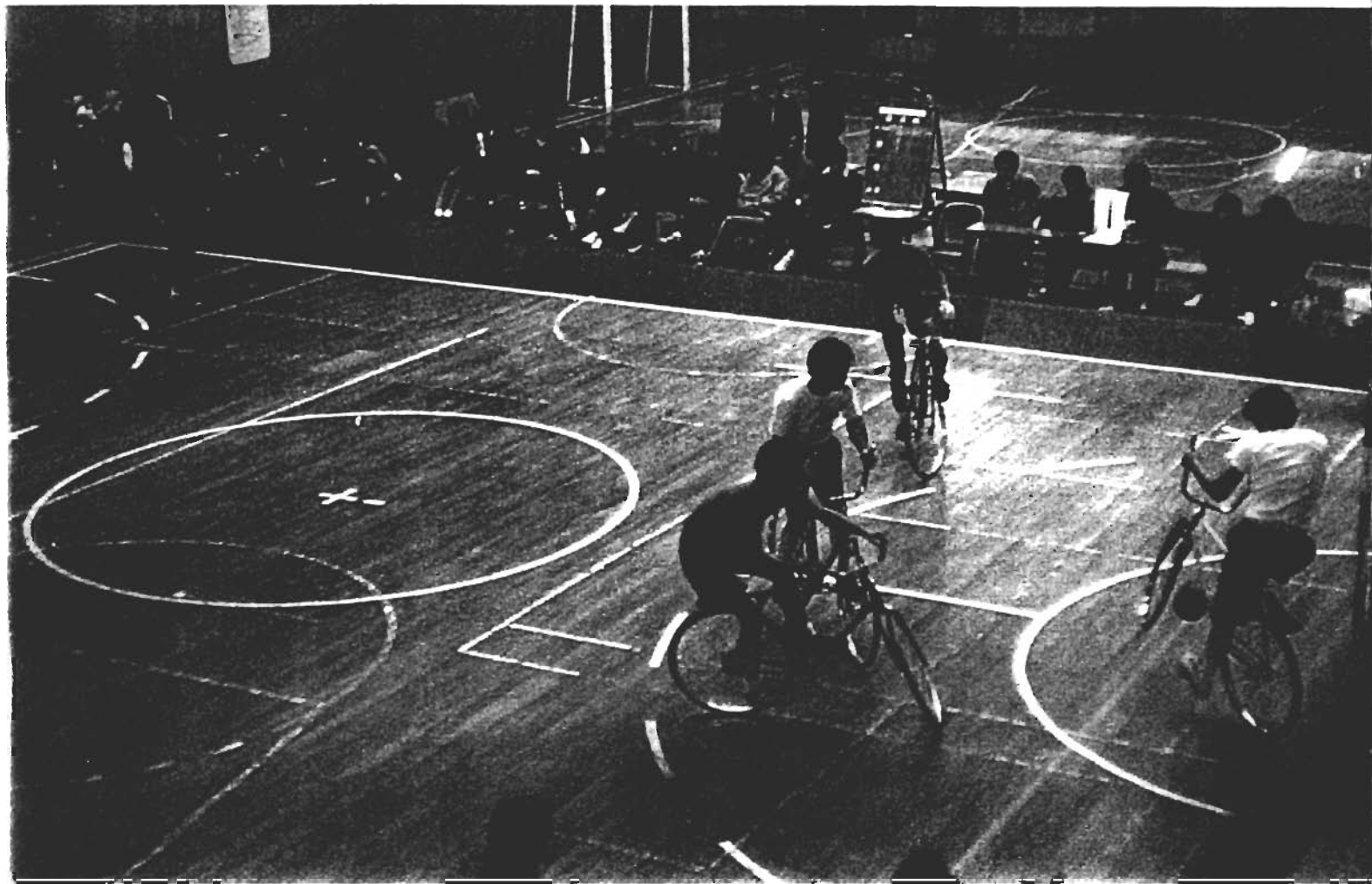
2日目は午前9時から試合開始。京都産業大学Aチームと関東でただ一校の明星大学Aチームの対戦から、ベスト8による4試合を終了。5・6位決定予選のあとベスト6によって5・6位決定戦、3・4位決定戦、そして決勝と進んだ。決勝は京都産業大A（木俣守勝・石橋竜太郎）と桃山学院大A（前田幸春・藤本

保徳）によって覇権をかけて猛烈なシュートの応酬がくり返され会場を湧かした。試合は2時58分、大阪大OB井上審判のホイッスルで開始。前半戦は桃山大Aが先行。3分後まず京産大Aが1点をあげ6分後京産大A、桃山大Aがたがいに1点をあげるにとどまった。後半戦は3分後京産大Aが1点をあげ3対1としたが桃山大Aが追いついて5分後1点を取り、余す2分で再び得点をもらったが、実らず、3対2で京産大Aに凱歌があがった。

本大会では、このほかとくに1976年世界選手権大会参加の4名、梶谷・豊福組と有川・田後組によるエキシビションが行われ、また決勝進出の京産大Aと桃山大Aと世界選組が対戦した。各組の試合運びはチームワークよくシュートを連発していたが、まさに日本の最高峰を行く彼等の技術を目のあたりにして、会場のファンは終止、声援を送っていた。

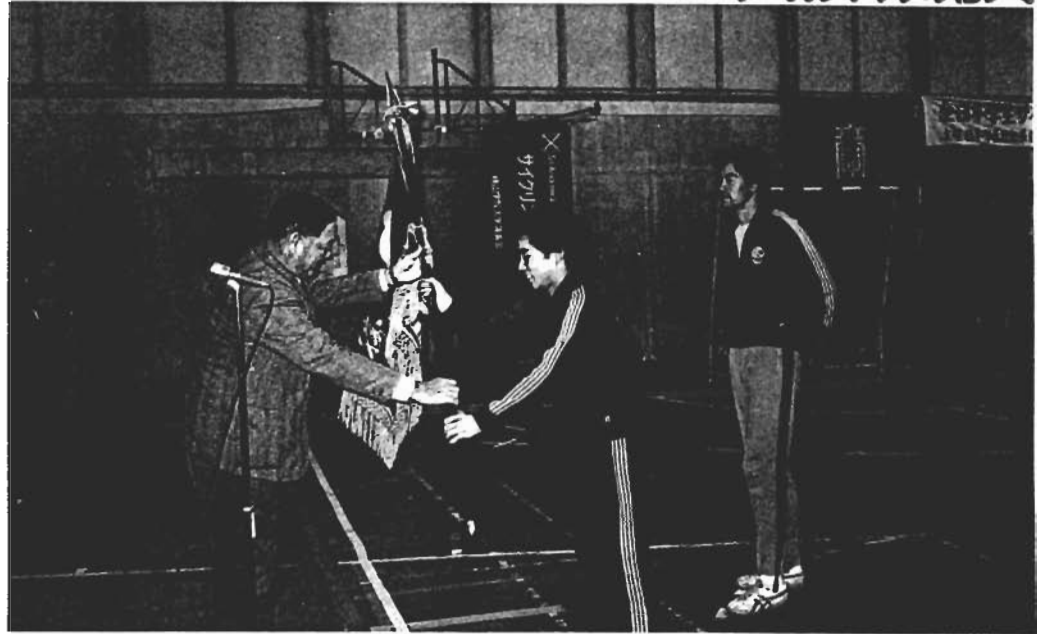


世界選手権優勝組と京産大Aチームとのエキシビション



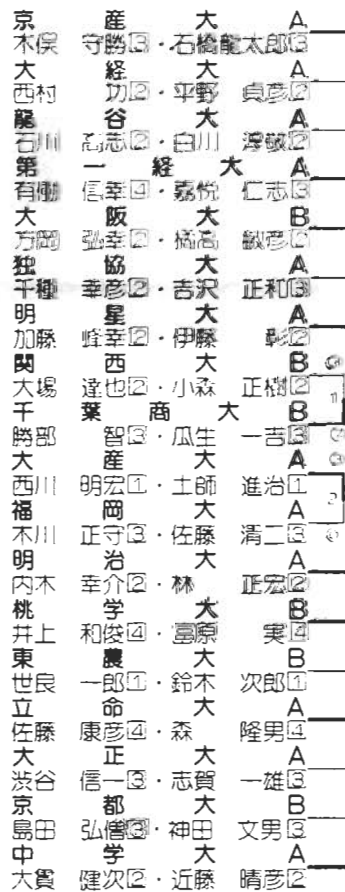
古久保関西学連会長から優勝旗を受ける京都産大Aチーム

凱歌 参加

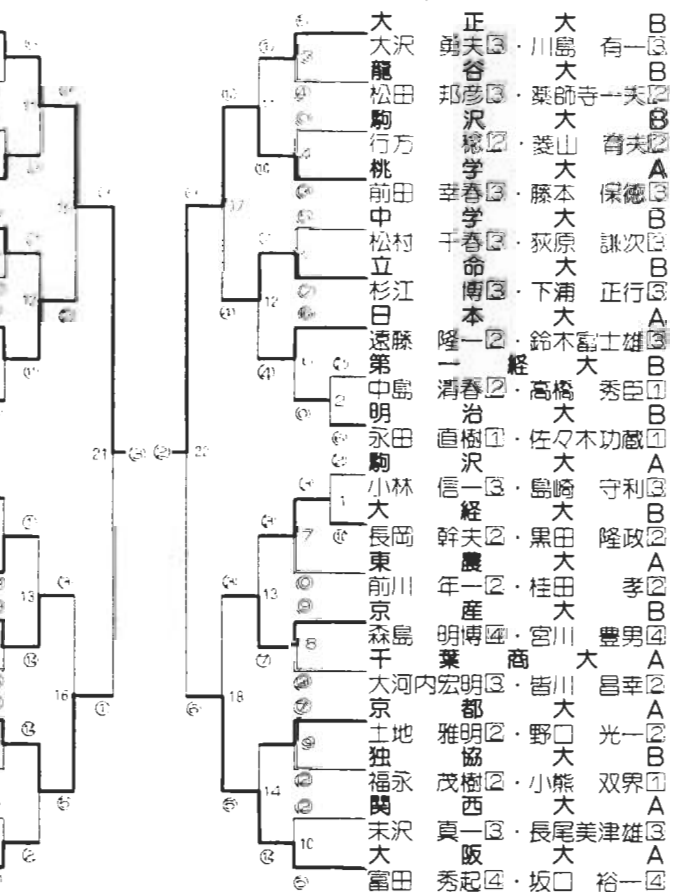


第9回全日本学生サイクルサッカー選手権大会・対戦成績

〈Aコート〉



〈Bコート〉



5・6位決定予選
1976.11.28

1組-①桃山学院大B(井上和隆三・富原真三)
②立命館大B(杉江博三・下浦正行)
③立命館大A(森隆男)
2組-①立命館大B(杉江博三・下浦正行)
②京都産大B(森隆男・宮川豊男)

準決勝

1組-①京都産大A(本保守勝三・石橋龍太郎)
②立命館大A(森隆男・森隆男)
2組-①桃山学院大A(前田幸春・森

本保守勝三)
5・6位決定戦

①桃山学院大B(井上和隆三・富原真三)
②立命館大B(杉江博三・下浦正行)
③・4位決定戦
④立命館大A(森隆男・森隆男)
⑤大沢大A(前田幸春・坂口裕一)

決勝

①京都産大A(本保守勝三・石橋龍太郎)
②桃山学院大A(前田幸春・森

●順位

1位京都産大A
2位桃山学院大A
3位立命館大A

4位大沢大A
5位桃山学院大B
6位立命館大B

EXHIBITION

①白米富士自転車A(菅谷利治・豊福雅治)
②白米富士自転車B(有川和英・田後誠一)

EXHIBITION・A

①白米富士自転車B(有川和英・田後誠一)
②桃山学院大A(前田幸春・森本保守勝三)

EXHIBITION・B

①白米富士自転車B(有川和英・田後誠一)
②京都産大A(本保守勝三・石橋龍太郎)